



「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員会が作成し、情報発信する機関誌です。

平成 30 年度第 3 回目の保健師研修会開催！！ “ 初「地域診断」”

平成 30 年 11 月 30 日（金）

看護研修会館 3 階大研修室 参加者 37 名

保健師には、各種統計データ・地域に出向いて直接収集した住民の声や情報等に基づく地域診断から、住民の強み・良さ・課題等の地域特性を把握し、地域の健康問題や関連施策を総合的にとらえる視点を持つことが求められています。

今回、“地域診断”をテーマに、講演とシンポジウムをとおして、どこにポイントを置いて地域診断を行い、その結果を住民にどう還元していけばいいか等一緒に考えてみました。

1) 報告 **保健師職能委員会活動報告** 保健師職能委員長 **西原 洋子**

2) 講演 **「地域診断に基づく PDCA サイクルの実施
～住民の声を聴いて施策につなげる～**

講師：鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科教授 **八田冷子先生**

地域に出向き
地域の声を聞くことがとても大事。

保健師の専門性は、個人と地域の両方にアプローチできる職種。



(内容)

- ① 保健師活動と地域，地域って何？
- ② 地域マネジメント＝PDCA サイクルの実践
- ③ 住民の声を施策に活かすための地域診断
- ④ 保健師活動の目標は？

講師紹介：鹿児島県の保健所保健師として地域活動に従事。現在鹿児島純心女子大学に勤務。

これまで、高齢者、障害者、子ども・子育て支援、生活困窮者支援等とそれぞれの分野で支援体制が出来たが、土台としての地域力をどう作っていくか強化していくかが課題！
小さな困りごとの段階で、住民自身がどう解決していくかが大事。

保健師は元来、個人に対する看護過程はよくできている。それに加え、地域保健活動過程の地域アセスメント→地域診断→活動計画→実施→評価ができる。**保健師の専門性は、個人と地域の両方にアプローチできる職種。ここを大事にしていく必要性が大きい。**

地域マネジメントでは、地域の強みと弱みを徹底分析し、保健活動の PDCA サイクルを回す。しかし、量的データだけで地域を見ることは不十分、**地域に出向き地域の声を聞き保健師でなければ掴めない地域診断を目指そう。**

★住民自らが取り組む県内の地域活動事例の紹介！

【いちき串木野市】ころばん体操 【曾於市柳迫】^{みらくる} 皆来館（多世代交流・多機能型拠点）。見守り隊【西之表市古田校区】中学校の閉校を機に、地域の中で小さな福祉のまち構想。

3) シンポジウム 「地域診断やってみました！」



シンポジスト 東串良町福祉課 宮ノ前 祥子 氏
日置市健康保険課 松村 千代美 氏

東串良町福祉課 宮ノ前保健師
地域診断をするきっかけは、H29 年度大隅地域保健師等研修会（中堅期の研修会）。八田先生の「地区診断とは？」を学び、地区診断計画書を作成。進捗・現状報告、地区診断報告・発表を行った。保健師4名で地域診断の検討の場を作り、庁内保健師定例会を活用した。地域診断から予算まで検討。対象集団の関係のある資料を集め、データを保健師間で共有できた。⇒地域の健康課題を整理（4分野）→主な健康課題→構造図に示す。情報を整理すると、今まで見えなかったものが見え気付かなったことがわかった。定例保健師会で継続検討して、大隅地域振興局で報告。保健師全体で課題を共有していたので、人事異動があっても共有できた。業務が多い中、毎年地域診断することは難しいが、地域診断の課題に立ち返って考えることができるメリットがある。

日置市健康保険課 松村保健師
地域診断をするきっかけは、当時の課長（保健師）の声掛けから。4地域に分かれ、各分野・各年代の保健師でチーム編成。取り組みは①地図作成：シートを重ね公民館、病院等の資源を表示し見える化。②テーマシートごとに地域の状況を記載。③4地域を比較するデータを集める。集めたデータを見て地域の課題を抽出し取組む課題の決定。
・1つの地域診断を例に、受診率が低い2地区→保健推進員の未受診者受診勧奨訪問から見てきたこと→保健推進員の理解不足？保健師の説明不足？住民意識（健診への優先順位）が低い？
・2年目は課題の深堀り・課題の見える化→実現可能な対策を考える→2月に発表し課題担当の係に提案し、次年度の計画に反映。
・課を超えて、それぞれの視点で話合えた。新人から「地域に出るのが楽しい」という言葉や、日頃話ができない保健師間で話ができ先輩保健師の思いを聞いた。無理のない範囲でできたことが継続できた秘訣。



4) 意見交換・グループワーク

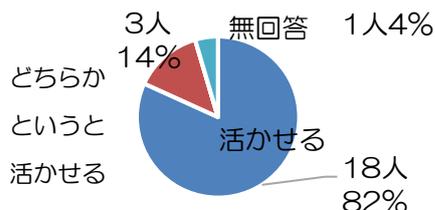
テーマ「やってみよう地域診断！」

- ・地域診断を含めて現在出来ていることは？
- ・自分の地域の強み、良さ、課題は？
- ・明日から取り組めることは？

～アンケートからのご意見～

- ・地区担当について考えを改める良い機会となった。
- ・もっと地域に出て生の声を聴き、個から集団へ、集団から個へ、看護と地域保健活動の2つのアセスメントができる保健師を目指したい。

Q. 今回の研修内容は今後の保健師活動に活かせますか



第4 保健師研修会のお知らせ 平成31年2月23日（土）

「統括保健師研修会～統括保健師について知る！考える！～」

講師：篠原 和子氏（元日置市健康保険課長）